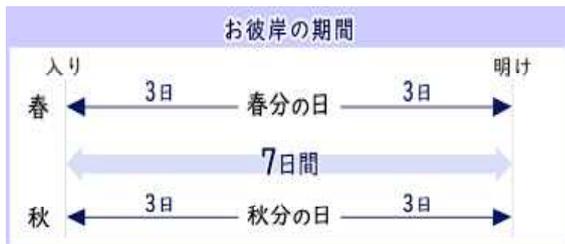


「3連休に入ります。台風被害は大丈夫ですか。」

生徒指導通心
第17号

縁(えん)

妻ヶ丘中生徒指導部
令和4年9月22日発行



日々、秋の深まりを感じるようになりました。しかし、今回の台風に関しては、「身の危険」を感じる凄さでした。以前勤務した地域は、甚大(じんだい)な被害を受けたということで、すぐに連絡を取りました。新聞やニュースでも映像を目にしましたが、本当にすごい状況でした。一日も早く、元の状況に戻ることを祈るばかりです。皆さんの周辺は大丈夫でしたか。家から学校までの道のりで危険箇所はありませんか。ここ数日でも変化がみられる場合が

あります。日々の確認をお願いしますね。

さて、話は変わりますが、この連休中、お墓参りをする家庭もあるのではないのでしょうか。この時期の、9月20日(火)～9月26日(月)を「お彼岸(ひがん)・秋彼岸」と言い、23日(金・祝)を「彼岸の中日」と言います。毎年、国民の祝日である「春分の日」「秋分の日」を中心とした前後の3日間(合計7日間)がお彼岸と言われているようです。ちなみに春彼岸は、春分の日を中心とした前後の3日間だそうです。恥ずかしながら…勉強しました。

最後に、また3連休がやってきます。週間天気予報では、天気は下り坂です。先日の台風で、水かさが増していたり、地盤が緩んでいたりする箇所があるかも知れません。細心の注意をはらって行動して下さい。

過ごし方については、【第17号(9月16日発行)】でお知らせしたとおりです。それでは、有意義な3連休を！



危険な場所に近づかない！命を守る行動を最優先に、お願いします。

★集団生活を考える・・・第2弾★

前々回の「縁」で紹介した「集団生活を考える」という話。ある生徒から、「もう話はないんですか？」という言葉をいただきました。アリの話をした後だけに、ありがとうございます(笑)。

それでは、期待に答えることができるかどうか分かりませんが、早速話題を変えてもう一つ、養殖ウナギにまつわるこんな、エピソードを聞いたことがあります。集団生活とは、少し違うかも知れませんが、**集団生活を生き抜く「力」**にはなるかもしれません。



ウナギの稚魚は、関空(関西国際空港)や成田に空輸されるそうですが、様々なストレスにより輸送中に90%が死んでしまいます。

生存率が1割というのは、余りにも効率が悪いので、色々試行錯誤した挙げ句、ウナギの稚魚の天敵・ナマズを同じ水槽に入れてみたそうです。

その結果、驚くべきことに、ウナギの稚魚の生存率は8割に向上したそうです。確かに天敵のナマズに2割は食べられてしまいましたが、天敵に**相対すること**でウナギの稚魚が活性化し、死ぬものが激減したそうです。

う～ん、実に興味深いと思いませんか。私たちが生活している人間社会でも、こういうことってあると思いませんか？

毎日、居心地のいい場所で生活していると、安心が行き過ぎてしまい、つついぬるま湯につかってしまうことが…。しかし、ナマズのような天敵が入ることで、緊張感がはりめぐらされ、それによって組織が活性化されるわけです。

つまり、時には厳しい環境や新しいことにチャレンジすることが大切であるということです。当然、勇気やエネルギーが必要なことですが、その経験は必ずや自分の成長につながることでしょう！

皆さん、自分を成長させるために切磋琢磨していきましょう！



秋季中体連第一弾！必勝！健闘を祈る！